

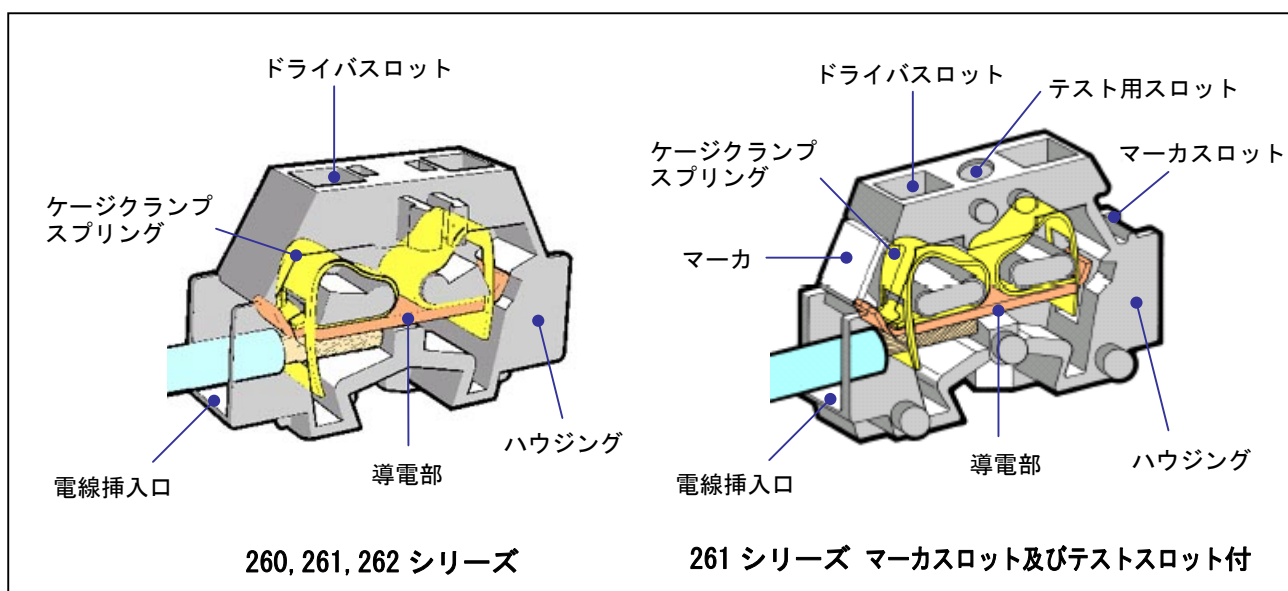
## ● ケージランプコンパクトタイプ端子台 260, 261, 262 シリーズ

### サイドエントリー

	260 (2線式)	260 (4線式)	261 (2線式)	261 (4線式)	262 (2線式)	262 (4線式)
定格電圧/電流	400V/18A	400V/18A	500V/24A	500V/24A	630V/24A	630V/32A
適合電線径	0.08~1.5mm <sup>2</sup>	2×0.08~1.5mm <sup>2</sup>	0.08~2.5mm <sup>2</sup>	2×0.08~2.5mm <sup>2</sup>	0.08~4mm <sup>2</sup>	2×0.08~4mm <sup>2</sup>
AWG	28~16	2×28~16	28~14	2×28~14	28~12	2×28~12
端子厚 (ピッチ)	5mm	8mm	6mm	10mm	7mm	12mm
電線むき長さ	8~9mm	8~9mm	8~9mm	8~9mm	9~10mm	9~10mm
最大被覆外径	Ø3.8mm	Ø3.0mm	Ø4.2mm	Ø4.0mm	Ø5.3mm	Ø5.0mm

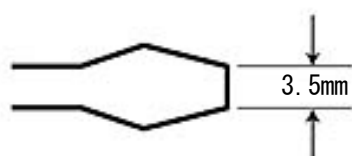
## ■ 構造

○端子台の構造及び各部の名称...下図を参照して下さい。



## ■ 使用工具

①必ず正しい工具をご使用下さい。



刃先幅 3.5mm のマイナスドライバ



210-720.....標準型(欧州製)

210-120J ... 標準型(国内製)

②ワイヤストリッパは、むき長さが守れ、電線を傷つけないものをご使用下さい。

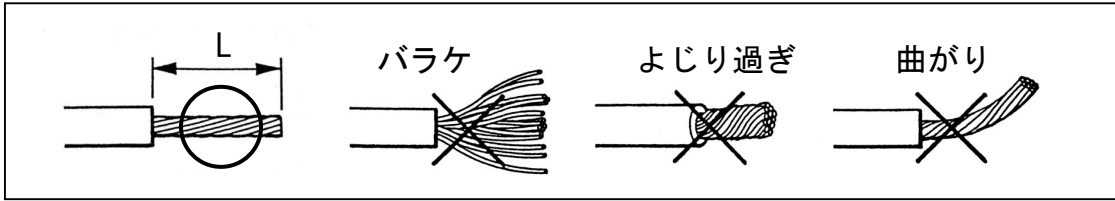


弊社推奨品

型番 : 206-124 (クイックストリッパ 10)

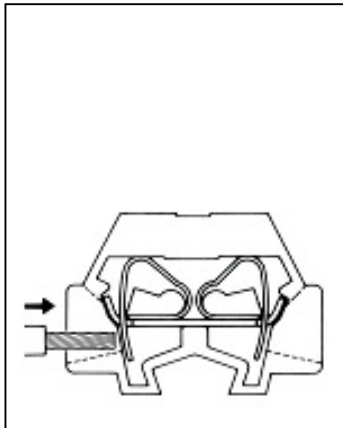
.....電線の切断と皮むきが一台で行えます。

■電線のむき出し ○必ず規定のむき長さを守ってむき出して下さい。

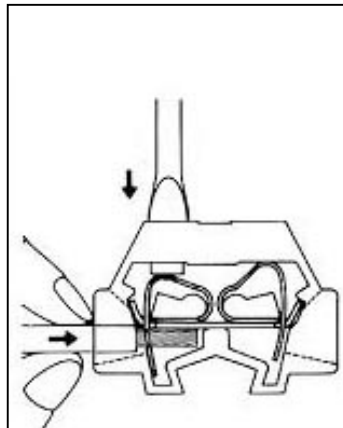


L = 260, 261 シリーズ 8~9mm / 262 シリーズ 9~10mm

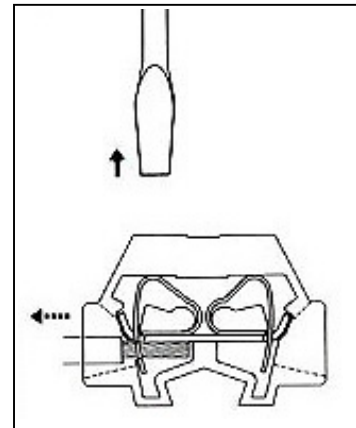
■結線作業 ○下図に従って作業して下さい。



①正しくむき出した電線を電線挿入口に差し込み、押し当てます。



②ドライバでスプリングを押し下げ、電線を突き当たるまで差し込みます。



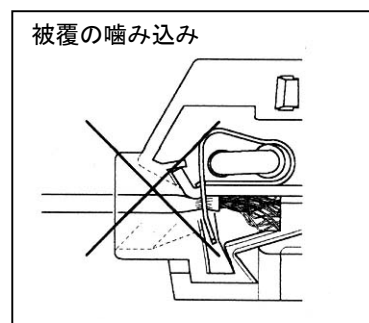
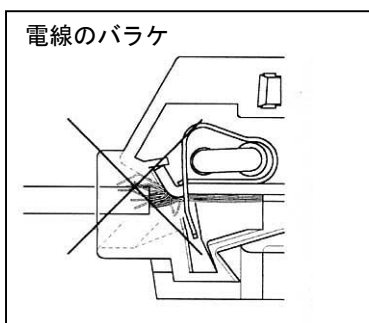
③電線を押さえたまま、ドライバを離して下さい。確認の為、電線を軽く引っ張って下さい。(強く引っ張らないで下さい。)

※原則として1つの電線挿入口には1本の電線を接続して下さい。  
(JIS 9960-1(IEC 60204-1) 13.1.1 一般要求事項による。)

■離線作業 ○結線作業と同様にスプリングを操作すれば、電線を取り外せます。

■注意

- スプリングをまっすぐに押し下げて下さい。
- スプリングが止まり位置に達したらそれ以上は押さないで下さい。無理な力を加えると端子台が破損するおそれがあります。
- 電線被覆の噛み込み、バラケに注意して下さい。



## ■ジャンパの取り付け

### ジャンパ (2 極)



260 シリーズ用  
型番：260-402

261 シリーズ用  
型番：261-402

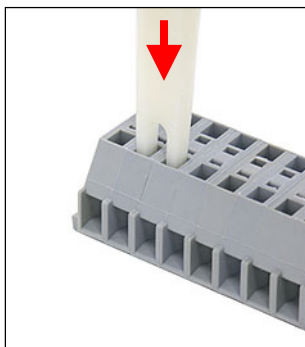
262 シリーズ用  
型番：262-402

### 使用工具- 専用工具

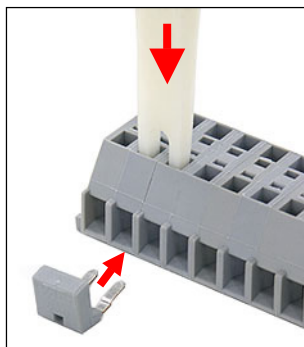


プラスチック製操作工具  
型番：209-132

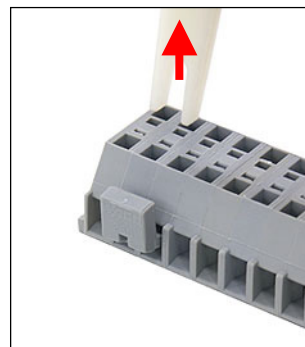
## ●取り付け方法



ジャンパを取り付ける極の角穴（上部）に工具（209-132）を差し込み、スプリングを押し下げます。



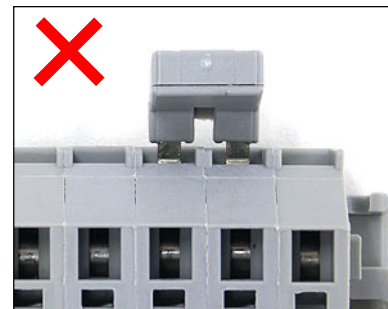
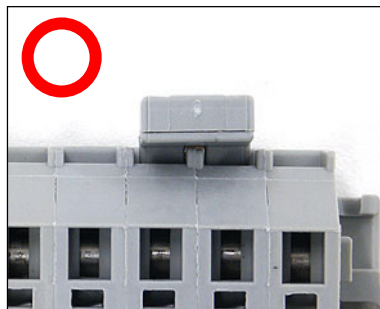
工具を押し下げたまま、電線口にジャンパを差し込みます。



工具を離せば取付けは完了です。

## ⚠ 注意

ジャンパは浮かないようにしっかりと奥まで取り付けて下さい。  
正しくとりつけない場合、絶縁不良、導通不良、発熱、焼損に至る恐れがあります。



## ●ジャンパ挿入時の結線



ジャンパと電線を同じ穴に挿入可能です。  
この場合、最大接続電線径は小さくなります。

### ジャンパ挿入時

シリーズ名	260	261	262
最大接続電線径 (mm <sup>2</sup> )	1.0 mm <sup>2</sup>	1.5mm <sup>2</sup>	2.5mm <sup>2</sup>
最大接続電線径 (AWG)	AWG 18	AWG 16	AWG 14